

大会申し合わせ事項

1. 試合は組み合わせ表の通りとする。
2. 1日目は予選リーグ対戦表で左側のチームが、ユニホームの色は淡色、ベンチはオフィシャルに向かって右側とする。
2日目は組み合わせ番号の若いチームが、ユニホームの色は淡色、ベンチはオフィシャルに向かって右側とする。
3. ベンチ入りは、選手15名以内・コーチ1名・アシスタントコーチ2名・マネージャー1名・チーム責任者1名とする。
(有資格者が1名以上ベンチに必ず入ること。)
4. メンバー表を前の試合のハーフタイムまでに、オフィシャル(以下、T・O)に提出すること。
ただし、第一試合目については試合開始10分前に提出すること。
5. 試合時間は、全ての試合5分-1分-5分(3分)5分-1分-5分とする。
6. 第1クォーター・第3クォーターに出場する選手は、審判が1分前の合図をしたら直ちにT・Oに報告する。
また、第2クォーター・第4クォーターに出場する選手は、それぞれの前のクォーターが終了したら直ちにT・Oに報告する。
7. 1日目の各会場の審判については、対戦表に記載の通りとする。
2日目については帯同審判とする。但し、大会本部で審判を割当てることがある。
8. 1日目の各会場のT・Oについては、対戦表に記載の通りとする。
2日目の第1試合については、原則第3試合の若番チームが行う。
T・Oの後ろには、必ず指導者やT・O担当の大人がついて管理してください。
9. 試合時間が遅れている場合は、前試合の終了から10分後に開始する。
10. 試合予定時間を15分過ぎても対戦相手が来ない場合は、不戦勝とする。(20対0)
11. 競技規則は、2022年4月(公財)日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則を適用する。
(株式会社モルテンの人工皮革5号ボールを使用する。)
12. 同点の場合は延長戦を行う。延長戦は、2分後に3分の延長を行う。
第2延長は、2点先取したチームの勝ちとする。
13. 予選リーグで2勝が2チームとなった場合は決定戦を行う。
また、3チーム以上の勝敗が同じになった場合は次の順番で順位を決める。
 - ①. ゴールアベレージ(総得点÷総失点)
 - ②. 得失点差(総得点-総失点)
 - ③. 総得点の多い方
 - ④. コーチによる抽選
14. 体育館は、全て土足禁止とし、各自で室内用靴、またはスリッパ等を用意する。
また、各チームのウォーミングアップの場所は外になるので外靴を用意する。
15. 喫煙は、所定の場所で行い、吸殻および火の後始末を確実に行う。(体育館内はすべて禁煙とする。)
16. ごみ等は各チームで責任を持って持ち帰り、会場が「使用前よりも綺麗に」を心掛ける。
17. 1日目の結果の問い合わせ(20:30頃~)はスポーツ少年団HPをご覧ください。
18. 会場の位置がわからない場合は、地図やHP等で確認してください。
駐車場に限りがありますので、**車での来場は1チーム4台以内としマイクロバスでの来場はご遠慮ください。**
(会場の小学校、公共施設への直接の問い合わせは、ご遠慮ください。)

大会開催におけるコロナ感染症拡大防止対策基本方針

1. 会場に入場する人の体調管理を徹底する。
2. 試合会場では換気を徹底する。
3. こまめに手洗い消毒を心がける。
4. 着替えは少人数になるように工夫をする。
5. マスクを外しての会話を極力少なくする。
6. その他、スポーツ協会等からの案内をよく読み、感染症拡大防止をする。

大会に参加されるにあたり、以下の内容に注意してください。

1. 参加不可能条件（会場に入場する全て対象）

- ・朝の健康観察において、平熱を超える発熱がある者及び体調がよくない者。
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる者。

2. 参加者

- ・会場に入場できる人数を制限する。
- ・全日程並びに全会場、各チーム35名まで（例：選手15名、スタッフ5名、その他15名）とする。

3. 試合中注意すること

- ・コート的人数が密にならないよう、試合に関わる人以外はできるだけいないようにする。
- ・試合前と試合後の挨拶は、握手及び声を出さず、礼のみとする。
- ・試合後の相手チームへの挨拶をしない。
- ・円陣を組まない。
- ・ベンチでの声を出しての応援はなし。手拍子のみ。会話をできるだけ控えること。
- ・保護者等も声を出しての応援はなし。
- ・ベンチの椅子の間隔をできるだけ空け、試合に出ていない選手等は、間を空けて座る。

4. 感染予防対策について

- ・試合間、試合後などこまめに手洗い、うがい、手の消毒をすること。
- ・施設の扉や電気のスイッチなど触らない。
- ・マスク着用を基本的とし、試合・練習中は外して良い。TOは、マスク着用。
- ・換気を十分に行うこと。
- ・ウォーターボトル、タオルを共有しないこと。
- ・試合以外は、十分な距離の確保を行うこと。
- ・備品などの共有はしないこと。
- ・試合間には、椅子・TO席のスイッチ類の消毒をすること。
- ・会場内に入場するチーム関係者、選手及び保護者は、大会参加者健康チェックシートを試合がある日ごとに提出する。
- ・日頃から取り組んでいる健康観察を十分に行い、各チーム又は各学校や自治体等の健康観察用紙を使用し、大会2週間前から健康観察を行い記録し、各チームで3か月間保管する。
- ・会場所在自治体の様式の入館者名簿を別途提出する場合がある。
- ・審判は、必ずホイッスルカバーを使用する。また、それに加えレフリーマスクを着用することが望ましい。・コロナ感染症拡大防止対策の消毒液等の用意は各チームで対応する。